

八王子市中町を対象とした 花街の雰囲気回生及び活性化に向けた活動支援

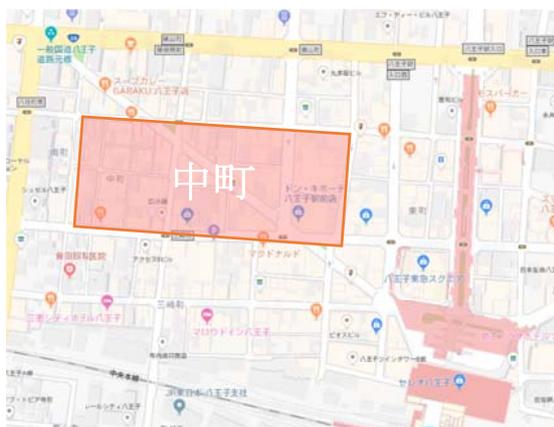


- 活動地域
東京都八王子市中町
- 活動期間
2011年～継続中
- 活動体制
工学院大学 野澤研究室/
八王子市中町地区まちづくり
協議会／八王子市まちなみ
整備部まちなみ景観課/
まちづくりアドバイザー
- 活動キーワード
中心市街地／花街／黒塀/
柳／石畳
- 2018年度メンバー
B4 新井直輝／久保龍希/
藤田裕

-活動経緯-

八王子市では2006年度に施工された八王子市地区まちづくり推進条例にて、中町地区を対象に地区まちづくり協議会を発足した。

市民、事業者及び市の責務を明らかにし、協働によりまちづくりを推進するために必要となる基本的な事項を定め、魅力ある住みよいまちづくりの推進を図ることを目的としている。



-対象地の概要-

明治30年の大火をきっかけに花街が集約した「中町」では、産業ともに花街文化も発達し、大正末期には150名ほどの芸妓数を誇っていた。一時は織物産業の衰退とともに芸妓数も減少したが、近年かつての花街の雰囲気を回生する気運が地元中心で高まり、暮らしに歴史と文化の薫るまちづくりを目指している。

-昨年度までの活動-

2011年度～2017年度

路地や芸者の文化が残る地区でのまちづくり活動や、黒塀のデザイン提案、お休み処の提案、八王子お祭りでの模擬店出店による資金確保、石畳のガムはがしのような清掃活動など、多種多様な活動に参加した。

2018 年度の活動内容

【八王子まつり 手伝い】

8月3.4.5日に行われた八王子祭りで、毎年かき氷を販売、手ぬぐい販売、スタンプラリーのお手伝いなど、中町まちづくりの活動資金にすると共に、多くの人が集まるこの機会を利用し、中町花街をより多くの人に知ってもらいたいという目的から始まった。

今年は、手ぬぐい販売とスタンプラリーの手伝いを行なった。今回かき氷の販売が出来なかったため、来年の販売に向けてより良いかき氷作りを考えていく。得た活動資金はまちづくり協議会、研究室の活動費に当てていく。(写真 右4枚)



【桜美林大学との協力】

中町で毎年行っているイベント、八王子祭り、おわら風の舞などの活動を今年初めて桜美林大学の尾川先生のゼミメンバーと協力して行なった。多くの人数が集まる、大学・学生間で協力することで多くの発見や経験ができる。今後、活動を共にする機会がある時は、八王子祭りやおわら風の舞などを共に盛り上げていきたいと考えている。



【今後の活動】

中町地区まちづくり協議会が活動している中町を舞台に緑化事業を行うまちづくりと中町にシェアハウスを展開し新たな魅力を創出していく、中町プロジェクトが進んでいく。

まちづくり協議会が今後どのように関わっていくのか、具体的な考えを2019年度からまとめ提案、実施していく。



◀写真 柳と黒塀